

報道関係者各位

2015年2月10日
株式会社コトブキ

第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラム 「安全で賑やかな自律循環型地域社会を目指して」開催

株式会社コトブキ(本社:東京都港区、代表取締役社長:深澤幸郎、以下:コトブキ)は、2015年3月15日、仙台市にて開催される第3回国連防災世界会議(※)に関連して、パブリック・フォーラム「安全で賑やかな自律循環型地域社会を目指して」を開催いたします。

※国連防災世界会議とは、国連主催の会議で、1994年(横浜)、2005年(神戸)と開催されており、今年3月14~18日に第3回が東日本大震災で被災地となった仙台市で開催されます。

創業100年を迎えるコトブキは、防災に関わる公共空間向け什器メーカーとして、2015年3月に仙台市にて開催される第3回国連防災世界会議の開催趣旨に賛同し、同会議関連事業として公開フォーラムを開催します。当フォーラムでは、東日本大震災被災地の復興を担う復興庁および地方創生を推進する内閣府から小泉進次郎政務官、また復興最先端都市である神戸市から長岡賢二危機管理室長、そしてソニーコンピュータサイエンス研究所からは変化に強い形で多様で複雑なシステムを構築運営する新しい科学的アプローチを提唱する所眞理雄氏、の3氏をお招きし講演いただきます。加えて、日常生活・コミュニティの中に”防災”をいかに取り込み豊かなものに育てるのか、政治・行政・IT・デザイン・ものづくりなど、多分野の識者を交え、パネルディスカッションを実施します。

これからの地域社会と防災のあり方について広く考える機会として、どなたでもご参加いただけるフォーラムです。一般参加者の定員は300名で、イベントホームページより参加申し込みを受け付けます。

<登壇者 抜粋>



衆議院議員・内閣府大臣政務官
兼 復興大臣政務官
小泉 進次郎 氏



神戸市危機管理室長
長岡 賢二 氏



SONY コンピュータサイエンス研究所
エグゼクティブアドバイザー
所 眞理雄 氏

【開催概要】

日時: 2015年3月15日(日)

10:00~11:45 (開場 9:30)

場所: 仙台市シルバーセンター交流ホール

主催: 株式会社コトブキ

協催: サイボウズ株式会社/株式会社アキューブドシステムズ

参加費: 無料

参加申込方法: 下記WEBページにて受付(定員300名)

イベントホームページ: <http://www.kotobuki.jp/bousai-sendai/>

第3回国連防災世界会議についてはこちら <http://www.bosai-sendai.jp/>



K・O・T・O・B・U・K・I

コトブキは第3回国連防災世界会議を支援しています。

本件に関する報道のお問合せ

株式会社コトブキ 広報部 担当: 山崎・中里

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-14-5

TEL: 03-5733-6682 FAX: 03-5733-6672 E-mail: press@kotobuki.co.jp

【プログラム】

- 9:30 受付開始
- 10:00 開会のご挨拶 小泉進次郎 政務官
- 10:10 基調講演 長岡賢二氏
- 10:30 基調講演 所眞理雄氏
- 10:50 パネルディスカッション
「安全で賑やかな自律循環型社会を目指して」
モデレーター：坂之上洋子氏
- 11:45 閉会

※本プログラム内容は、予告なく変更されることがあります。ご了承ください。



仙台市シルバーセンター

〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院1丁目3番2号

【登壇者（パネリスト紹介）】



経営ストラテジスト/随筆家
坂之上 洋子 氏

米ハーリントン大学卒業後、建築コンセプトデザイナーとして ASID エクセレント優秀賞等を受賞。その後米国 IT 業界でブランディング構築に関わる。観光庁のビジットジャパン・クリエイティブアドバイザー、内閣府国家戦略室国家ブランドについて議論するメンバーなどを務め、現在は、ポリオ撲滅を推進する JIGH、及び アジア国家間自然発生時の救済体制アジアパンフィックアライアンスの最高戦略責任者、また随筆家としても活躍中。



衆議院議員・内閣府大臣政務官
兼 復興大臣政務官
小泉 進次郎 氏

関東学院大学経済学部卒業後、米コロンビア大学院政治学部修士号取得。米国戦略国際問題研究所 (CSIS) 研究員を経て、衆議院議員小泉純一郎氏秘書を勤めた後、平成 21 年 9 月衆議院議員初当選、現在 3 期目。内閣府大臣政務官、および復興大臣政務官を務めている。



神戸市危機管理室長
長岡 賢二 氏

大阪大学工学部卒業後、消防士として神戸市消防局へ。阪神淡路大震災時は消防司令として特に火災による被害が甚大であった長田区で消防活動を行う。その後、中央消防署副署長等を歴任。消防監であった東日本大震災時は、緊急消防援助隊として福島第一原子力発電所へ。2014 年神戸市危機管理室長。市民が安心して暮らせるよう、南海トラフ巨大地震や気象災害、健康被害、テロ等様々な危機事象に対応できる危機管理体制の強化に取り組んでいる。



SONY コンピュータサイエンス研究所
ファウンダー
所 眞理雄 氏

1988 年慶應義塾大学情報工学科助教時代にソニー土井利忠氏の呼びかけでコンピュータ科学分野で世界一の研究所を目指し、ソニーコンピュータサイエンス研究所を創立。代表取締役社長・会長を経て現職。現在は、地球環境の持続性、生命、ヘルスケア、巨大な人工システムの安全性など、複雑なシステムの問題解決に対する還元論的アプローチの限界を示し、新たな科学的方法論として“オープンシステムサイエンス”を提唱している。



佐賀県 最高情報統括監 (CIO)
森本 登志男 氏

京都大学工学部卒業後、宇部興産、ジャストシステムを経て、マイクロソフト株式会社へ。新規事業開拓と社会貢献の担当として、2003 年から ICT を活用し、マーケティング手法を取り入れ地域活性化を支援。2011 年より佐賀県の最高情報統括監 (CIO) に就任。ICT 活用の観点から県庁経営に参画し、県庁や県内の情報化を統括するとともに、県庁全体の業務改革を推進。総務省地域情報化アドバイザー、都道府県 CIO フォーラム会長も務める。



株式会社コトブキ 代表取締役社長
深澤 幸郎

慶應義塾大学商学部卒業後、2007 年株式会社コトブキへ。保守点検サービスを担う株式会社タウンスケープサービスの立ち上げ、スマートフォンでの遊具点検システム構築を担当。その後、営業、設計・商品開発等タウンスケープ・サイン事業を統括。2012 年より代表取締役社長。福島新工場、ソフト面を担う株式会社コトラボを 2014 年に設立。ハード・ソフト・サービス三位一体の事業構築により、100 年目を迎える老舗製造業の変革を進めている。

【コトブキの取り組み】

弊社は公園遊具やベンチ、バスシェルター、屋内外サインなどパブリックスペースのファニチャーメーカーとして、防災ファニチャーや屋外健康器具なども開発しています。一方で国内クラウドサービスの最大手サイボウズや、アイキューブドシステムズとのコラボレーションを実施。自社領域を超え、製造業・IT・サービス・ヘルスケア・エネルギー・金融・自治体などと統合的、相互補完的な取り組みを始めています。このたびは、超高齢社会背景とした様々な社会の地域コミュニティがどのようにより良く解決するのか、防災の観点から横断的に議論し、意見発信をいたします。



防災かまどベンチ



屋外健康器具 新シリーズ SoWell

【会社概要】

会社商号	株式会社コトブキ
代表者	代表取締役社長 深澤 幸郎
本社	〒105-0013 東京都港区浜松町 1-14-5
創立	大正 5(1916)年 8 月 5 日
資本金	1億円
事業内容	公共施設/家具事業、都市景観事業、遊具事業、サイン事業、屋外向け家具事業における開発、設計、製造、販売ならびにこれらの輸出入
従業員数	310 名
関連会社	株式会社コトブキタウンスケープサービス、株式会社ジースタジオ、台湾コトブキ・ランドスケープ株式会社、株式会社コトラボ